

経営比較分析表（平成28年度決算）

大阪府 島本町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	86.63	99.96	2,872	

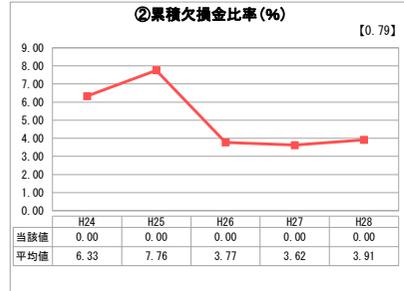
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
30,667	16.81	1,824.33
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
30,658	4.05	7,569.88

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成28年度全国平均

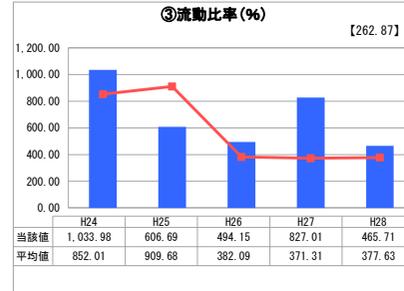
1. 経営の健全性・効率性



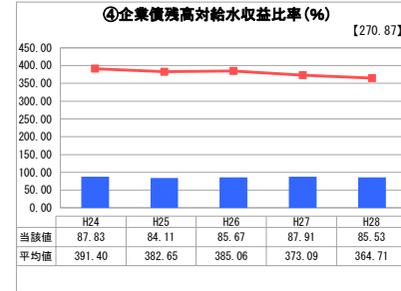
「経常損益」



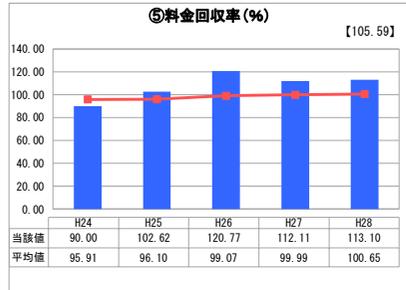
「累積欠損」



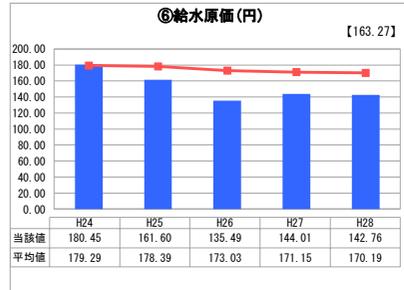
「支払能力」



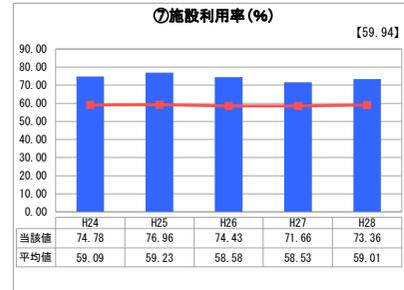
「債務残高」



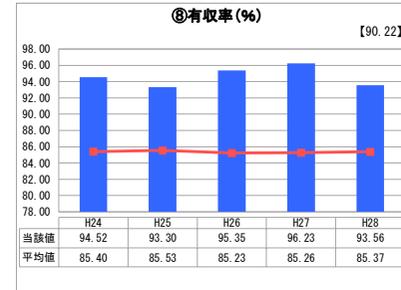
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

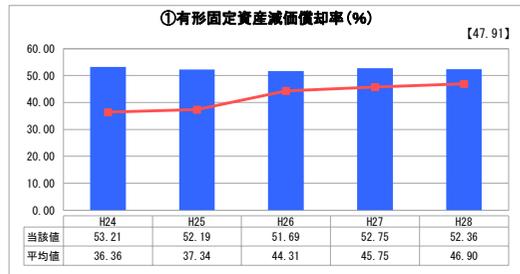


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び⑤料金回収率は、類似平均を上回っており、望ましいとされている100%以上を維持しています。また、②累積欠損比率はゼロとなっており、経営の健全性は確保できています。④企業債残高対給水収益比率は、地方債発行の抑制に努めてきていることから、類似平均と比較して低い水準となっています。⑦施設利用率は、類似平均を15ポイント前後上回る水準を維持しており、適切な施設規模による効率的な運営ができていているものと考えています。⑧有収率は、定期的な漏水調査や漏水個所の適切な修繕等に努めた結果、類似平均を10ポイント前後上回る水準を維持しています。

2. 老朽化の状況について

②管路経年化率は、類似平均と比較してかなり高い水準で推移している状況ですが、定期的な漏水調査及び漏水個所の適宜の修繕により、現時点では良好な給水を確保できています。なお、平成25年度に策定した管路更新計画に基づき、老朽化した管路の更新等を実施しています。

全体総括

経営面では、類似団体との比較から、現時点では一定の健全性・効率性を確保できているものと考えていますが、給水収益の横ばい傾向が続いており、今後は厳しい経営環境となることが予想されます。このため、老朽化した施設の更新等に当たっては、経営状況を注視しつつ、計画的に取り組むこととし、また、安定的なサービス提供を継続できるように、徹底した経営健全化・効率化に努めます。なお、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を平成31年度に策定予定です。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。